

008

葡萄地

新地

「面」

VACANT DeSs

DeSs  
Design Study Session

008

「面」

菊地敦己

VACANT

tag

- |                 |             |      |             |
|-----------------|-------------|------|-------------|
| 〈ブランディング〉       | 〈フォント〉      | 〈方法〉 | 〈代理店〉       |
| 〈ロゴ／マーク／CI〉     | 〈タイポグラフィ〉   | 〈道具〉 | 〈依頼主〉       |
| 〈広告〉            | 〈グリッド〉      | 〈表現〉 | 〈ユーザー〉      |
| 〈出版／書籍〉         | 〈写真〉        | 〈形態〉 | 〈コンシューマー〉   |
| 〈パッケージ〉         | 〈イラストレーション〉 | 〈身体〉 | 〈ワークフロー〉    |
| 〈サイン〉           | 〈ビクトグラム〉    | 〈感覚〉 | 〈承認フロー〉     |
| 〈ステーションナリー〉     | 〈色彩〉        | 〈環境〉 | 〈著作権〉       |
| 〈SP〉            | 〈構成〉        | 〈美術〉 | 〈団体〉        |
| 〈ムービング・グラフィックス〉 | 〈構造〉        | 〈哲学〉 | 〈コンペティション〉  |
| 〈紙メディア〉         | 〈設計〉        | 〈歴史〉 | 〈非デザイナー〉    |
| 〈デジタルメディア〉      | 〈UI〉        | 〈教育〉 | 〈パブリック〉     |
| 〈web〉           | 〈デザイン〉      | 〈生活〉 | 〈コミュニケーション〉 |
| 〈映像〉            | 〈ディレクション〉   | 〈社会〉 | 〈インディーズ〉    |
| 〈立体〉            | 〈印刷〉        | 〈商業〉 |             |
| 〈空間〉            | 〈製本〉        | 〈地域〉 |             |
| 〈ツール〉           | 〈紙〉         | 〈問題〉 |             |
| 〈その他〉           |             | 〈模倣〉 |             |

DeSsはデザイン勉強会です。毎回、ゲスト講師をお呼びして、レクチャーとディスカッションをおこないます。「フォント」「グリッド」「印刷」などの基本技術から、「形態」「ブランディング」「模倣」といった関連テーマまで、講師のこれまでの仕事にさまざまなタグを立て、その思考と実践を掘り下げます。またこれらを記録し、現在のグラフィックデザインを見渡すアーカイブを構築します。

当日は二部構成です（第一部：レクチャー、第二部：ディスカッション）。

参加者には積極的にディスカッションに参加していただき、活発な議論を交わしたいと期待しています。

日 時：2017年4月8日（土）

開場 17:30 開始 18:00（21時勉強会終了。以降パーティム）

会 場：VACANT

料 金：一般 2500円 学生 1500円 定員 40名

※ご希望の方は、お申し込みサイトよりお申し込みください。

[dess.sarubrunei.com](http://dess.sarubrunei.com)

運 営：DeSs事務局 松本弦人 廣岡孝弥 福田幹 水野雄太

※当日の進行はドキュメントアーカイブを優先することをご理解ください。



VACANT

a: 3-20-13 Jingumae Shibuya Tokyo Japan  
t: +81 (0)3 6459 2962 w: www.vacant.vc

我々（グラフィックデザイナー）はデザインだけを見ていた。

その結果、個々の技は磨かれ、世界的に見ても独特なグラフィックを排出してきた。

それと引き換えるかのように、我々（グラフィックデザイナー）は社会や生活から徐々に離れ、2015年には「エンブレム騒動」という社会現象を引き起こしてしまった。

「エンブレム騒動」は我々の責任ではないか？ という認識を持ち、ここで一度立ち止まり再考するために、勉強会DeSsを立ちあげました。

山積する課題に対し、力も時間も不十分な私達（DeSs）は、グラフィックデザインの現状を整理することから着手しました。（グリッド〈広告〉〈模倣〉など、デザインに関する項目をタグとして切り出し、様々な知見を切り出したタグに当てはめ整理しアーカイブすることを最初の目標としています。

第一期には、町口寛、長谷川踏太、服部一成、大原大次郎、佐藤卓、祖父江慎、中村勇吾（敬称略）を講師に招き、彼らの多様な思考と実践に触れることができました。

勉強会を重ね、アーカイブを充実させる。これがいまできる最良の実践であると考え、DeSs第二期をスタートします。